

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月25日

会社名 株式会社サンエー化研 (JASDAQ・コード番号：4234)
 (URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山田次夫 TEL：(03)-3241-5701
 責任者役職・氏名 専務取締役 家島裕嵩

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (主な内容)
 税金費用は当年度の見積実効税率に基づいて計上しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	26,101	6.6	970	△14.8	1,063	△11.2	617	△3.7
18年3月期第3四半期	24,494	7.4	1,138	5.3	1,197	2.7	641	△6.8
(参考)18年3月期	32,805	8.2	1,446	4.8	1,517	5.1	906	4.0

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	54	56	—	—
18年3月期第3四半期	56	66	—	—
(参考)18年3月期	77	23	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期における我が国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加により引き続き回復基調で推移いたしました。

当社グループにおきましては軽包装部門、産業資材部門では概ね堅調に推移することが出来ました。しかしながら、LCD（液晶表示装置）向け保護フィルムを成長ドライバーとする機能性材料部門では、液晶パネル業界の在庫調整の影響を受け、当初計画していた売上高を確保することが出来ませんでした。そのため、第2、第3四半期には当社グループでも生産調整をおこなわざるをえず、引き続き高止まりしている原材料費と併せてコストアップの要因となり、利益を圧迫することとなりました。

この結果、当第3四半期の連結売上高は26,101百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益1,063百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期末	37,062	17,240	46.2	1,513 92
18年3月期第3四半期末	34,146	16,410	48.1	1,450 58
(参考)18年3月期末	34,339	17,144	49.9	1,512 58

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

機能性材料部門における掛川工場第2期設備投資の資金調達のために、2,100百万円の銀行借り入れを行いました。

【参考】

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	35,200	1,520	910

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 80円 43銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

上記予想は平成18年11月22日付当社「中間決算短信」において発表いたしました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想を次のとおり修正しております。

1. 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	36,000	1,800	1,080
今回修正予想 (B)	35,200	1,520	910
増減額 (B-A)	△800	△280	△170
増減率	△2.2%	△15.6%	△15.7%
(ご参考) 前期実績 (平成18年3月期)	32,805	1,517	906

2. 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	32,300	1,760	1,056
今回修正予想 (B)	32,300	1,550	930
増減額 (B-A)	0	△210	△126
増減率	0.0%	△11.9%	△11.9%
(ご参考) 前期実績 (平成18年3月期)	29,572	1,478	868

業績予想の修正理由

機能性材料部門の受注は回復してきており、第4四半期は当初の利益計画を達成する見込みではありますが、当第3四半期に落ち込んだ利益を取り戻すまでには至らず、通期では連結ベースの経常利益が当初の予想を280百万円（前回予想比15.6%減）下回る見込みです。

※上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

〔添付資料〕

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末	平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末	(参考) 平成 18 年 3 月期 末
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産			
現金及び預金	3,881	3,431	3,700
受取手形及び売掛金	12,537	11,633	10,826
たな卸資産	4,704	3,823	3,913
その他	339	442	431
流動資産合計	21,462	19,331	18,871
II 固定資産			
有形固定資産	10,940	10,284	10,150
無形固定資産	21	27	25
投資その他の資産	4,638	4,502	5,292
固定資産合計	15,600	14,814	15,468
資産合計	37,062	34,146	34,339
(負債の部)			
I 流動負債			
支払手形及び買掛金	8,225	7,779	7,477
その他	6,583	6,643	6,345
流動負債合計	14,808	14,423	13,822
II 固定負債			
長期借入金	3,473	1,369	1,214
その他	1,540	1,826	2,040
固定負債合計	5,013	3,196	3,255
負債合計	19,822	17,619	17,077
(純資産の部)			
I 株主資本			
資本金	2,176	—	—
資本剰余金	2,135	—	—
利益剰余金	11,689	—	—
自己株式	△4	—	—
株主資本合計	15,996	—	—
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	1,130	—	—
評価・換算差額等合計	1,130	—	—
III 少数株主持分	112	—	—
純資産合計	17,240	—	—
負債、純資産合計	37,062	—	—

科 目	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末	平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末	(参考) 平成 18 年 3 月期 末
	金 額	金 額	金 額
(少数株主持分)			
少数株主持分	—	115	116
(資本の部)			
I 資本金	—	2,176	2,176
II 資本剰余金	—	2,135	2,135
III 利益剰余金	—	11,043	11,308
IV その他有価証券評価差額金	—	1,060	1,529
V 自己株式	—	△4	△4
資本合計	—	16,410	17,144
負債、少数株主持分及び資本合計	—	34,146	34,339

2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	平成 18 年 3 月期 第 3 四半期	(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
I 売上高	26,101	24,494	32,805
II 売上原価	22,757	21,026	28,293
売上総利益	3,344	3,468	4,511
III 販売費及び一般管理費	2,374	2,330	3,064
営業利益	970	1,138	1,446
IV 営業外収益	162	127	159
V 営業外費用	69	67	88
経常利益	1,063	1,197	1,517
VI 特別利益	2	—	98
VII 特別損失	17	128	133
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,048	1,069	1,482
税金費用	433	427	574
少数株主利益(控除)	—	0	1
少数株主損失(加算)	2	—	—
四半期(当期)純利益	617	641	906